

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター中央

【計画】

作成担当者： 森永 涼子

開催日時	令和01年06月11日 10:00 ~ 12:00	開催場所	かごしま市民福祉プラザ
参加者	圏域内居宅介護支援事業所 主任ケアマネジャー：8人、地域包括支援センター中央職員：4人		
	総数 12人		
内容	テーマ	令和元年度中央地区地域ケア会議(中央圏域主任介護支援専門員対象)	
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の主任介護支援専門員同士の交流を深めることができる。 ・主任介護支援専門員として、自事業所や地域の介護支援専門員の後方支援・地域づくりにどのように取り組んでいくか協議できる。 	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ①地域ケア推進会議の概要やこれまでの取り組み等説明し、今年度の会議に出席いただく代表者を選出する。 ②困ったケースとして個別の課題を吸い上げ、地域課題として集約、共有する。 ③主任介護支援専門員としての役割を担ううえで、中央圏域での事例検討会の開催について検討する。 ④その他(まごころ収集、認知症初期集中支援チーム、認知症サポーター養成講座)について情報提供を行う。 	

【結果】

開催日時	令和01年06月11日 10:00 ~ 12:00	開催場所	かごしま市民福祉プラザ
参加者	圏域内居宅介護支援事業所 主任ケアマネジャー：8人、地域包括支援センター中央職員：4人		
	総数 12人		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①地域包括ケア実現のため、地域支援事業の充実・強化の一端として1層～3層の各地域ケア会議が設置・開催され、地域課題の抽出や解決に向けた協議を実施していること等説明・報告する。圏域の地域ケア推進会議について、今年度第1回目を7月上旬に開催予定としていることを報告し代表出席者を募ったところ、居宅介護支援事業所甲東の泉氏が立候補してくださり委員として委嘱していく予定となった。 ②これまでの支援で困ったケースとして、家族がいなかったり、いても関係性が悪化し疎遠になっていたりとといった身寄りの問題が多く挙げられた。中央圏域はオートロックマンションも多く近隣住民との関係性も希薄な傾向にあり、利用者の安否確認の方法や逝去された際のご遺体の引き取り手の問題に苦心された経験等共有された。また障害から介護へ、要介護から要支援へといった切替や移行の際、利用できるサービス等に違いがあるため、本人への説明に苦慮するケースも挙げられた。アルコール依存症等の精神疾患をお持ちの利用者への対応で困難が生じたケースの報告も聞かれた。「成年後見制度の利用が必要な方がいた際、鹿児島市成年後見センターを案内でき助かった」と話された方がいる一方でセンターの開設を把握されていない方もおり、社会資源等の情報共有や勉強の場を望む声も挙がった。 ③事例検討会について、既に実施している取り組みや考え方については事業所ごとに差異があったが、事例検討会を通して交流を深められたり資質の向上にもつながるとの意義については共有でき、まずは年1回から開催予定となった。 ④まごころ収集について情報提供を行ったほか、認知症初期集中支援チームや認知症サポーター養成講座について周知を図ることができた。 		
	今後の課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題について、今後も継続して共有・集約し、解決に向けて対応・協議していく必要がある。 ・中央圏域での事例検討会の開催について、詳細を詰めていく必要がある。 	